

事務事業名		消防団車両等整備事業		☒ 実施計画登載事業		☒ 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	015 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	22 防災対策の推進				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	05 消防体制の充実				01	09	01	03	04
根拠法令				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	大船渡地区消防組合 大船渡消防署				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)				
	課長名	菊池一夫								
	係名	警防係	電話					27-2119		
	担当者	吉田久悦	内線	433						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
消防団は、現代社会の安寧に欠かせないものであり、日夜市民の生命、身体、財産の保護に活躍している。この活動を効果的に行うにあたり消防団車両は、不可欠なものであるため、市内の各地域に52台の車両を配置している。この車両の老朽化したものを約20年を目処に計画的に更新する事業である。事業費としては、これらの消防ポンプ自動車と小型動力ポンプ積載車を更新するための購入費である。 ※ 各分団車両51台、団指揮車1台。 令和元年度、消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ1台、小型動力ポンプ積載車1台を更新。				総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

消防ポンプ自動車:第11分団第6部
 小型動力ポンプ:第10分団第5部
 小型動力ポンプ積載車:第10分団第5部

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

消防ポンプ自動車:第4分団第2部
 小型動力ポンプ:第11分団第5部
 小型動力ポンプ積載車:第11分団第5部

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

消防団車両、消防ポンプ

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

老朽化に応じて更新される。

④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)

災害発生時に的確な消防活動ができる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 消防施設整備消防ポンプ自動車更新台数	台
イ 消防施設小型動力ポンプ更新台数	台
ウ 消防施設整備小型動力ポンプ積載車更新台数	台

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 大船渡市消防団の各団各部	部
キ	
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 消防施設整備消防ポンプ自動車更新率	%
シ 消防施設整備小型動力ポンプ更新率	%
ス 消防施設整備小型動力ポンプ積載車更新率	%

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	財源内訳	千 円						
		国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円	31,700	31,900	17,700	26,800	27,000	34,400
		その他	千 円						
	人件費	一般財源	千 円	648	442	120	780	931	543
		事業費計 (A)	千 円	32,348	32,342	17,820	27,580	27,931	34,943
		正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時 間	720	720	720	720	720	720
		人件費計 (B)	千 円	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880
トータルコスト(A)+(B)			千 円	35,228	35,222	20,700	30,460	30,811	37,823
⑤活動指標		ア	台	1	1	1	1	1	1
		イ	台	2	2		1	1	1
		ウ	台	2	2		1	1	1
⑥対象指標		カ	部	57	56	53	52	52	51
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	%	100	100	100	100	100	100
		シ	%	100	100		100	100	100
		ス	%	100	100		100	100	100

事務事業ID	1116	事務事業名	消防団車両等整備事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

昭和27年4月1日市制施行から消防団が設立され、消防ポンプ自動車や小型ポンプ積載車などが配備された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

車両更新期間が、延長されている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

これらの車両を使用している消防団員から、早期の更新要望が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 消防団車両を更新することにより、消防団活動を円滑に行うことができ市民の安全に寄与できた。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 消防団という組織上、また、東日本大震災を経験し災害対応した経験上、事業費は税金を投入して妥当だと思う。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 今後、消防団員の減少や組織が見直しがされ、車両台数の減が予想される。しかし、車両台数が減じられても市民の安全を守るため、老朽化した車両の更新、より高度の車両導入が必要である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 消防団員数の減少による操作員の不足や高齢化に対応、また、多種多様の災害に対応するには、水槽付ポンプの導入などが望まれるが、購入費用が増大する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 この消防活動を行える団体が他にはなく、公共の安全のためのものであり、廃止、休止は考えられない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費を削減することにより、現在よりも性能が劣る車両となってしまう。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 消防車両という特殊な車両であり、車両及びポンプ仕様の精査、入札事務、検収と事務量は多く、時間短縮の可能性はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 現在は、受益者負担がない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
災害発生時(風水害、火災等)に、安全・確実・迅速に活動するため、老朽化した消防車両の更新は必要不可欠であり、今後も車両更新計画のとおり更新し配備していく。																								

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	初年度登録から約20年経過した車両を車両更新計画のとおり、更新し配備していく。